



令和5(2023)年10月例会ご案内 (バスツアー; 太安万侶ゆかりの地をめぐる)



バス研修

日 時 令和5年10月18日(水曜日)

(今回は第3水曜日になっています。ご注意ください)

我が国最古の歴史書である『古事記』を編纂した太安万侶のお墓は奈良市此瀬町の茶畑に墓誌と共に発見されました。今年没後1300年を迎えるのを機会に安万侶ゆかりの地をバスでめぐります。

コース

平群町役場前駐車場 $\xrightarrow[1時間]{20km}$ 多 神 社 (田原本町) $\xrightarrow[40分]{15km}$
8 : 4 0 (集 合) 9 : 4 0 着 / 1 0 : 1 0 発 (30分)

め 太 神社 (郡山市)
賣

※神社による当神社の縁起、環
濠集落などの説明あり

$\xrightarrow[50分]{17km}$

A R T & C A F E 水仙月



徒歩で往復
片道:1.3km

太安万侶の墓 (此瀬町)

1 0 : 5 0 着 / 1 1 : 3 0 分 発 (40分)

1 2 : 2 0 着 / 1 4 : 2 0 発 (2時間)

$\xrightarrow[1時間40分]{30km}$

平群町役場前駐車場

1 6 時 ごろ 帰 着 (解 散)

※太安万侶の墓へは「カフェ水仙月」から片道約30分を往復します

◆集合場所・時間:平群町役場前駐車場(8時40分集合/時間厳守)

◆解散場所・時間: 〃 (16時ごろ)

☆ 帰着時間は交通事情によって前後します。

◆参加費:(ケース1)

参加者31名以下の場合「平群町バス」を利用します。(バス代負担なし)

参加費(昼食代) ¥1000円

参加費:(ケース2)

参加者が32名以上になると「平群町バス」に加えて「大和観光バス」のマイクロバス(定員20名)をチャーターします。マイクロバス代¥55,000円は参加者全員で負担します。

例:参加者35名の場合/参加費(昼食代+マイクロバス代) ¥2,600円

※但し、参加者数で変動します。当日精算して、バス乗車時に集金します。

※当日会員は上記と別途に「当日会費」 ¥500円を頂きます
(下記申込締切期限までに直接河本まで申してください)

☆ 雨天決行です。

◆参加申込み締め切り: ~9月28日(木)

各地区の幹事様を通じて、幹事様不在の方は直接河本(携帯 080-6112-3406／Fax0745-45-2709)まで申込み下さい。各幹事様は人数がまとまり次第、出来るだけ早く河本まで連絡下さい。

◆申込後のキャンセル

10月16日(月)午前中までに出来るだけ早くご連絡下さい。

その後は昼食代 1000円の支払いが必要です。

◆昼食ランチ

季節の食材を取り入れた水仙月オリジナルの弁当です。

尚、酒類の販売はしていません(店内での飲酒は禁止されています)

◆保 険

参加者全員について、団体加入の下記傷害保険と賠償責任保険が適用されます。

傷 害 保 険:死亡・後遺障害 500 万円、入院治療日額 5000 円(180 日限度)、
通院治療日額 3000 円(90 日限度)

賠償責任保険:身体、財物共通 3億円

9月例会報告《9月10日(日) 尼崎の歴史をたずねて》 担当/山本・江見

当日の天気は午後から雨の予報が出されており心配されたが、朝から快晴で午後からも天気恵まれた一日になった。

阪神尼崎駅前集合し、「7月に続き夏場対策として涼しい博物館の訪問を企画した」との会長の挨拶と当日会員の紹介がされた後、担当者から行程の案内と、海だった尼崎平野が縄文時代から奈良時代にかけてどう陸地化されてきたかの説明や「あまがさき」の歴史的概要が説明され出発した。

まず訪れたのは**尼崎市立歴史博物館**(旧尼崎女学校校舎)。敷地内には江戸時代に築城された尼崎城の本丸があった場所であったことが説明された後館内を自由見学となった。館内には尼崎の縄文時代から古墳時代、飛鳥時代から安土桃山時代の遺物が展示されていた。ここでは予定時間を20分程繰り上げて向かいにある公園で昼食休憩をとった。昼食休憩の後、次の目的地尼崎城についての事前説明があり、最初の尼崎城は平城で大物にあったが大阪城を守るため、天守閣を持つ城を戸田氏鉄に新たに築城させたこと、現在の城は元の西三の丸の後に建てられたことなどが説明され尼崎城へ向かった。

尼崎城では最上階の5階「わがまち展望ゾーン」に集合し、尼崎の町を眺めながら、係りの方からタブレットを操作しての解説を受けた後、4階「ギャラリーゾーン」3階「なりきりゾーン」と下り、2階の「尼崎ゾーン」では大画面のVRで尼崎の城下町の様子が上映されていた。次の目的地は「寺町」、現在11寺院が残っているが、その中の特徴のある6寺院を訪問した。

①**全昌寺**は寺町唯一の曹洞宗で、戸田氏の菩提寺として大津で建立されたが、氏鉄の所替えに伴い尼崎に再興された。鐘楼堂が阪神大震災で被害を受けたが再建された②**本興寺**は寺町で中心的な寺院で三光堂など桃山時代の優れた建造物として、また日蓮上人ゆかりの数珠丸が重要文化財に指定されている。③**広徳寺**は室町幕府管領で摂津や山城などの守護であり最初の尼崎城を建てた細川高国切腹の場所であり、また秀吉が明智勢に追われて逃げ込んだ場所との逸話が残っている。

④**法恩寺**は肥後一揆の責任を取らされた佐々成政が秀吉の命により切腹させられた場所⑤**大覚寺**は奈良にゆかりのある聖徳太子が建てさせたと伝わる尼崎最古の古刹⑥**専念寺**は平清盛の嫡子重盛の菩提寺であり、内大臣まで務めた朝廷での功績により朱塗りの山門をゆるされた。・・・ことなど各寺院での説明があった。

これで今日の行程を無事終了し、阪神尼崎駅前解散した。雨予報に心配された昼食時も快晴の天気になり、無事に済んだことが担当者として何より安心し、また感謝した一日だった。

《参加者:25名(内1名当日参加)》



尼崎駅前/行程説明



尼崎歴史博物館



上:尼崎城へ 下:城内シアター



全昌寺にて



本興寺にて



広徳寺にて



法園寺佐々成政墓碑前にて



大覚寺にて



専念寺赤門

《 訃 報 》

元当会会長で現顧問の石田 弘氏がお亡くなりになりました。
享年96歳でした。石田氏は昭和44年頃の烏土塚古墳の開発による破壊から守るために行政の幹部として業者の前面に立ってご苦労されました。また1995～98(H7～10)年には3代目会長として豊富な経験を生かして活躍されました。

謹んで哀悼の意を表するとともに、ご冥福をお祈りいたします。(河本)

みんなのひろば

私は高校時代唐の時代の漢詩が好きで今回七言絶句を中国の友人と一緒に共同で作りました。

まず中国語で書きます。それから書き下し文を書きます。それから日本語訳で書きます。

題名 旷野 広野
今闻高考挚友愿
心情愉快飞蓝天
欲作相逢山奈良
共诗无涯比作肩

《書き下し文》

今聞く高考親友望む
心情愉快青い空を飛ぶ
欲を作って山の奈良で会いたい
共同の詩生涯無限に寄り添う

《日本語訳》

今聞いたのですが、中国の大学入試センター試験受験している中国人の親友が望みました
心は青い空のように飛ぶように愉快です
お互いに山の奈良で会いたいです
一緒に詩を作って学習はずっと永遠に続け寄り添っています

☆絶句とは中国の漢詩の形式で起承転結の4句から成ります。

七言で4行なら七言絶句と言います。五言で4行なら五言絶句と言います。
七言で8行なら七言律詩と言います。五言で8行なら五言律詩と言います。
漢詩の作り方ですが中国語で一句目と二句目と四句目の最後の音を同じ音、
例えば an で終わるなら an の音で ang で終わるなら ang の音で i の音で
終わるなら i の音でそろえなければなりません。音をそろえることを韻を
踏む中国語では押 ya 韵 yun と言います。

もし興味がおありの方一度漢詩を作られてみたらいかがでしょうか？

若葉台 武平竜一

平群史蹟を守る会